TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

「私の主、私の神よ」
ヨハネ 20:24-29

2022 年 4 月 16 日&17 日
余沢　武牧師

I. はじめに

主は復活された！（主はまことに復活された！）復活を祝うウィークエンドおめでとうございます！2000年前にイエスは地上に来られて、多くの人々はイエスがメシア、神の民を救う王と信じました。しかし、イエスは十字架につけられました。その 3 日後には、墓は空っぽでした。イエスは死から復活されたからです。

これはどういうことを意味しているのでしょうか。今日はそれを学んでいきます。まずは祈りましょう。

II.　私の主、私の神よ

(1)不信仰

ヨハネ 20:24-25 を読みましょう。

「十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「私たちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して信じない。」

イエスが復活された日の後に、弟子達の前に現れました。しかし、一人だけいなかった弟子がいました。トマスです。なぜか彼は聞いたことを信じることが出来ませんでした。彼はこう言いました、「この指を主の釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して信じない。」

一緒に考えてみてください。彼は何故信じることが出来なかったのでしょうか。
トマスは他の弟子達を信用していなかったのでしょうか。弟子達の中に嘘つきもいることを彼は知っていました。
復活すると言ったイエスを信頼していなかったのでしょうか。もちろんトマスはイエスを信頼していました。しかし、彼は理解できませんでした。
彼が信じられなかったのは、不可能だと思ったからです。単純に、死人が生き返ることができないと思っていました。特に、十字架にかけられて、槍で刺されて、わき腹から血と水が流れ出た後には。これは全ての生命活動が終わり、腐敗が始まったことを意味していると思ったからです。

私は高校3年生のある日のことを覚えています。家にあったロッキングチェアで生物学の教科書を読んでいました。そして、ある文章を読み、目からウロコが落ちたのです。

私たちは生きている間に体が腐敗しないのは、流れている血液が白血球や抗体を運んで細菌と常に戦っているからだと書いてありました。しかし、亡くなった途端、血液の流れも止まります。そして、食肉のように腐敗が始まってしまいます。

それまでに、私はそのようなこと考えたことはありませんでした。驚きました。しかし、この理由で人は復活を信じることが難しいのです。

アメリカの作家ジョン・アップダイクは「イースターの 7 つの詩節」という詩を書きました。このように始まります。「ご理解ください。キリストが復活したならば、それは肉体が復活したことを指します。もし、壊れた細胞が修復されず、分断した分子が再結合され、アミノ酸が再び活性化されないのであれば、教会の信仰の土台はくずれてしまうでしょう。」

言い換えると、イエスが復活されたという時、私たちは寝ていた人が起きたという話をしていません。生物学的腐敗の流れが逆になったと宣言しています。
つまり、

凝固された血液がまた液体化しました。
心臓がまた動き出して血液が流れるようになりました。
肺がまた酸素を供給しました。
全ての臓器、組織、細胞が復活して、修復して、細菌と戦いました。それが復活です。トマスはこれが可能だと信じられませんでした。

(2)信じること

20:26－28「八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。『あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。』トマスは答えて、『私の主、私の神よ』と言った。」

一週間後にイエスは弟子達の前に再び現れました。今回はトマスもいました。ドアに鍵がかけられていたにも関わらず、イエスは部屋の中にいました。イエスはトマスに釘跡に指を当てて、脇腹に手を入れなさいと言いました。しかしトマスはイエスに触れずに信じました。

私たちは多くの場合、何かを可能にするために必要な条件を見誤ってしまうことがあります。

レオン・モリス先生はある広い駐車場に車を停めたご高齢の女性の話をしました。帰宅しようとしたら、どこに車を停めたか思い出せませんでした。そして何人かの人が彼女を助けようとしました。

その女性は運転席の方のドアにへこみがある青いシボレーを探していると言いました。ついに、若い男性が言いました、「あなたが探している車と似ている車を見つけました。でも、ルーフの上に大きなカヌーが結ばれていますが。」 女性は、「そのことを忘れていましたわ」と言いました。

彼女はドアのへこみで車を見つけられると思い、もっと分かりやすいもののことを忘れていたのです。トマスも同じです。彼は釘跡を触らないと信じることができないと思い込みました。しかし、彼は間違っていました。でも全く別のことによって納得させられました。

突然、イエスは部屋の真ん中に立っていたのです。ヨハネは私たちに全てのドアに鍵がかけられていたことを教えてくれています。

私たちは SF のテレビ番組や映画に慣れているので、例えば、スタートレックの転送装置でそれを見たことあると思ったかもしれません。スタートレックに人達は宇宙船から消えて、別の場所に現れます。少しこれについて読んでみました。

スタートレックの番組の情報によると、まずその人は素粒子や亜原子粒子に分解されます—これは「energize（転送の命令）」で起きていることです。転送された情報は行きたい場所に送られ、その人は再度形成されます。

実際、科学的にも論理的もこの方法が唯一の方法です。しかし、このような技術はまだ存在していません。

しかし、イエスが鍵かかっている部屋に現れるためにこれが必要でした。ところで、世界の創造でも基本的にこのようなことが起きました。神が言葉を発した時、その言葉は送り出され、素粒子が集まり、創造物が生み出されました。

少し前に、死人を生き返らせるのがどれほど難しいかを話しました。しかし、何もない所から完全な人間を再度形成させる方がもっと難しいです。これは神の御業に他なりません。

トマスがその鍵がかかった部屋に現れたイエスを見たとき、彼は復活を見ているだけではなく、もっと大きい、素晴らしいものを見たと気付きました。神ご自身と神の力を見ました。そして、彼の口から思わずこの言葉が出たのです。「あなたこそ私の主、私の神です。」

イエスが復活された預言者や復活された王であることは一つのことです。しかし、イエスが神ご自身であることは、全てを変えてしまいます。これが意味していることは

イエスが教えられたことは全て真実である。神の本当の基準は私たちの基準より高度なものです。たとえば、

- 怒りを心に抱いていることは殺人と同じです。
- 情欲を抱いて人を見ることは、姦淫を犯したのと同じです。
- 愛することは、敵をも愛することが含まれます。それは、神の目から見ると、私たちはすべて死の罰を受けるに値する悪を行う罪びとなのだということです。

しかし、神ご自身が私たちのところに来ました。そして、私たちの罪の罰を十字架の上に受けて下さり、贖いが「成し遂げられた」と宣言されました。

そして、イエスが私たちの罰の身代わりに死んだことを受け入れて、イエスについて行くと決断したなら、神は私たちの内に新しい罪のない人格を造り変えてくれます。そんなことができるのか？もちろん。神だからお出来になります。

そして、私たちはイエスと共に永遠に生きるのです。イエスの復活がこれは真実だと証明しました。

(3)まとめ

29「イエスはトマスに言われた。『私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は、幸いである。』」

私たちが復活を祝う理由は、イエスが復活されたことだけではありません。もちろん、それが一番です。しかし、それを通して、私たちはイエスが神であり、神は私たちを救うために来られたと分かります。

私たちは今混乱している世界に住んでいます。パンデミック、戦争、結婚の問題、家族の、人間関係、学校、職場、教会の、経済的な問題、健康問題、その他たくさんの人生の問題があります。

私たちは、あの人さえこうしてくれたら、この人さえこうしてくれたらと思ってしまいます。あれさえ起きれば、これさえ起きれば、もっと良いのに. . . と。復活の日は私たちに、もっと素晴らしいことが起きたと教えてくれます。神は私たちを助けるために来られました。

神の目から見ると、本当の問題はあれやこれやこの人やあの人ではありません。本当の問題は私たちの罪です。私たちは問題の一部です。そして神は私たちを救ってまったく新しい命を与えるために来られたのです。

旧約聖書の中で好きな話の一つは、預言者エリシャの話です。ある時、エリシャは敵の軍隊に囲まれていました。エリシャの付き人はとても怖がっていました。しかし、エリシャは神がその付き人の目を開くように祈りました。そうするとその付き人の目が開かれました。
「**そこで彼が見てみると、山はエリシャを取り囲む火の馬と戦車で満ちていた。**」(**列王記下 6:17**)「**神の軍隊**」が彼らを守っていたのでした。

イエスが復活した日に、トマスはさらにもっと素晴らしいものをみました。彼はイエスの内に、神自身が私たちを救いに来られて、私たちを守り永遠に共におられることをはっきり見たのです。だから、私たちは復活の日を祝います。もし、イエスをまだ信じていないのであれば、今日この方を信じてください。

イエスは言いました、「**信じない者ではなく、信じる者になりなさい。**」

今日がイエスにあなたの人生を変えていただく日となりますように。

皆さん、イースターおめでとうございます！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1622jp

★クラス 301
（あなたの賜物を発見しよう!）
4 月 24 日（日）13:00～17:00

★クラス 401
（ミッションの発見）
5 月 15 日（日）13:00～17:00

★クラス 402
（キリストの伝え方）
5 月 29 日（日）13:00～17:00
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ申込み
http://t-b-c.us/sgsu



奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4 名募集）
月 1 回～各礼拝の時間（特に 3 時、5 時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org